

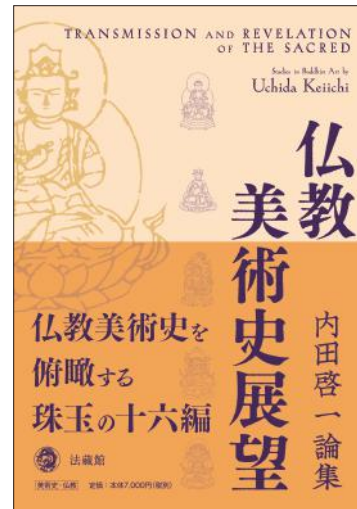
仏教美術史展望

—内田啓一論集

うちだ けいいち

内田啓一 著 ▼A5判・上製カバー・561頁・定価七、七〇〇円

2021年5月刊行



著者の広大な知的関心と学問的構想に基づく論稿の中から仏教美術史に関する十六編を厳選して収録。新たな美術史像を構築する一冊。

【目次】

刊行にあたって

第一部 仏教美術史を俯瞰する

仏画における生身性について—五色糸と髪繡
中国版本の請来と日本美術
唐物・韓物・和物のたからもの—木版画を中心に

第二部 東アジアを伝播する図像

宋代版画三題—元興寺藏如意輪を中心とした円成寺
藏如意輪・遍照寺藏阿彌陀三尊
MOA美術館藏『伝法正宗定祖図』について
—宋請来の拓本と図像
サンフランシスコ・アジア美術館所蔵文殊菩薩図像に
ついて—宋本図像と形式の踏襲

第三部 後醍醐の王権と文観の造形

根津美術館藏大日金輪・如意輪観音厨子について
—文観房弘真と制作背景
吉野・吉水神社藏両界種子曼荼羅
—後醍醐天皇と文観房弘真
妙法院藏神像図巻の図像学的考察
早稲田大学図書館所蔵『狐草紙』と『文観阿舍利絵巻』
—文観房弘真の後世におけるイメージ化

第四部 祖師の姿と本尊の靈験

根津美術館藏善光寺如来縁起絵
室生寺藏真言八祖画像について
—室生寺中興空智房忍空との関係から

「互いの御影」空海と僧形八幡神画像について
—成立から浄光明寺本まで
個人藏清涼寺式釈迦如来画像について
—西大寺像との関わりを中心に

第五部 密教図像の宇宙

烏葛沙摩明王図—東京国立博物館本と奈良国立博物館本
新出の立川流聖教について—翻刻と解題

附録 立川流聖教『五大五色抄(仮称)』影印

図版一覧
初出一覧

略歴

著作目録

あとがきにかえて(成澤勝嗣)

索引

◆著者略歴

一九六〇年、横浜市生まれ。一九八九年早稲田大学院文学研究科博士課程満期退学、町田市立国際版画美術館学芸員、二〇〇〇年昭和女子大学日本文学科教授を経て、二〇一一年早稲田大学文学学術院教授。二〇一七年逝去。主な著書に、『文観房弘真と美術』(法藏館、二〇〇六年)、『江戸時代の出版事情』(青幻舎、二〇〇七年)、『後醍醐天皇と密教』(法藏館、二〇一〇年)、『日本仏教版画史論考』(法藏館、二〇一二年)など多数。

| | |
|------------------------------|-----|
| 注文書 | |
| (書店印) | |
| ご担当 | 様冊 |
| 内田啓一著 | 法藏館 |
| 定価七、七〇〇円 | |
| 住所 | |
| 内田啓一著 | |
| 仏教美術史展望 | |
| —内田啓一論集 | |
| ISBN:978-4-8318-6329-4 C3015 | |
| お名前 | お電話 |

ご注文はFAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

仏教・美術史